

夏に使える漢方薬

1. 熱中症対策、食欲不振、全身倦怠感

(136) 清暑益気湯

補中益気湯の夏バージョンです。汗の量が減り、食欲不振、全身倦怠感に有効です。特に暑い環境下で仕事をする人、登下校の時間が長い、部活で外にいる時間が長い人向けです。

(41) 補中益気湯

一年中使えます。手足の倦怠感、食欲不振、体がへばったと感じたら飲みます。免疫を上げて病気にならないようにする人も多くおられます。

2. 熱中症で頭痛、吐き気、嘔吐がある

(17) 五苓散

何といっても五苓散です。冷たい水で飲みます。熱中症の頭痛は脳浮腫が原因です。五苓散を飲むことで脳浮腫が改善されます。体格のよいお子さん、大人は1回2包飲むとよいです。吐いても吐いても少量ずつ飲むと次第に症状が軽快します。

3. 顔面のほてりが激しい

(34) 白虎加人参湯

顔が真っ赤になってほてりが激しい、口喝を伴う場合に使います。頭痛、吐き気、嘔吐も見られるときは、五苓散を併用します。この場合も冷水で飲みます。顔面が真っ赤になって発熱、口喝があればカゼ薬としても使えます。

4. 夏カゼで発熱

(27) 麻黄湯 + (28) 越婢加朮湯

エンテロウイルスによる咽頭炎、手足口病には麻黄湯が有効です。特に元気がなくグッタリしている、無汗ならば大青竜湯を使います。エキス剤ならば麻黄湯 + 越婢加朮湯を併せて飲みます。寝ている間を除いて2時間おきに飲みます。4回、5回までは内服してみます。早くと3-4回で解熱します。一旦解熱したのに再び発熱が見られることがあります。これはカゼがこじれた状態の始まりです(数日熱の上がり下がりが続くことが多い)。こうなったら(9)小柴胡湯、あるいは(10)柴胡桂枝湯を1日2回で飲み続けます。次第に熱の上がり下がりが落ち着いてきます。

5. 冷房で冷える

(63) 五積散 (38) 当帰四逆加呉茱萸生姜湯

冷房の効いた部屋で仕事をしていると体が冷えます。足腰の冷え、頭痛などに用います。

6. 食べられない

(43) 六君子湯 (69) 茯苓飲

暑くなると急に食べられなくなる人がいます。六君子湯は飲みやすい漢方です。胃の血流を良くし、消化機能を上げ、食べてももたれなくなります。逆流性食道炎のある方は茯苓飲の併用がベターです。

ホームページをリニューアルしました

現在、①なかしまこどもクリニック、②なかしまこども漢方の2つのホームページがあります。

令和2年6月1日から、①なかしまこどもクリニック(メイン)のホームページをリニューアルしました。

従来のコンテンツに加え、今回新たに『院長の小窓』を作りました。

2週間に1回、漢方薬を2つずつ紹介していく動画を載せます。

医療関係者が見ても勉強になるような内容です。

現在、葛根湯、葛根湯加川芎辛夷、乙字湯、安中散について見ることができます。

過去の通信、漢方ファンの内容も御覧になれます。

お知らせ

岐阜市の漢方外来日

7月11日(土)、18日(土)

時間：14:00-17:30 場所：中島小児科(岐阜市健康東町2-1) ※すべて「院外処方」です。

小児夜間急病センター当番日

7月10日(金)

19:30-22:30(受付) 場所：岐阜市民病院にて

休診のお知らせ

7月29日(水)

都合により休診します。御迷惑をおかけしますが、よろしくお祈りします。